上川陽子外務大臣のNY訪問：国連総会参加（主要な成果）

令和5年（2023年）9月29日
総　合　外　交　政　策　局

●9月13日（水）に外務大臣に就任直後、**初の外国訪問**（9月18日（月）～22日（金））としてNYを訪問し、国連総会ハイレベルウィークに参加。
●16名の首脳・外相及び4つの国際機関の長と会談（※）。12のマルチ会合に出席し、5つの総理関連行事に同席。
※　面会・同席した首脳・外相・国際機関の長のうち約半数の9名が女性。

●今回のニューヨーク訪問を通じ、

1）先人たちの築いてきた成果を引き継ぎ、国連の場で日本外交の存在感を深化・発展。特に法の支配と安保理改革を含む国連の機能強化の重要性について力強いメッセージの打ち出し。

2）WPS「女性・平和・安全保障」を日本外交の一環として力強く推進する重要性を確認。日ASEAN50周年の機会も活用し、アジア諸国との連携を進める。

3）大臣着任早々、各国のカウンターパートとの個人的関係を構築。G7・日米豪印のコミュニティに温かく迎えられた。旧知の朴振（パク・チン）韓国外交部長官との間で、大局的な観点から日韓関係を更に進展させるべく緊密な意思疎通で一致。アフリカ、中南米等グローバルサウスと呼ばれる国々とも会談。

日米外相会談（18日）

未来サミット閣僚級準備会合（21日）

（別紙）

※　女性首脳・外相・国際機関の長

1．多国間・プルリ会合（12件）

（1）G7外相会合（18日）

（2）持続可能な海洋経済の構築に向けたハイレベル・パネル第5回会合（20日）

（3）「女性・平和・リーダーシップ」シンポジウム（20日）

（4）パンデミックの予防・備え・対応(PPR)に関するハイレベル会合（20日）

（5）女性外務大臣レセプション（20日）

（6）未来サミット閣僚級準備会合（21日）

（7）WPSフォーカルポイントネットワーク・ハイレベルサイドイベント（21日）

（8）G4外相会合（21日）

（9）日米豪印外相会合（22日）

（10）第13回CTBT発効促進会議（22日）

（11）日米韓外相立ち話（22日）

（12）日米比外相会合（22日）

2．二国間会談（20件）（国名のみは外相）

（1）英国（18日）

（2）IAEA事務局長（18日）

（3）ブラジル（18日）

（4）米国（18日）

（5）シエラレオネ（19日）

（6）フランス（19日）　※

（7）UNODC事務局長（19日）　※

（8）スロベニア（19日）　※

（9）国連総会議長（19日）

（10）インドネシア（19日）　※

（11）豪州（19日）　※

（12）バルバドス（首相）（20日）　※

（13）カザフスタン（20日）

（14）ウクライナ（20日）

（15）韓国（21日）

（16）メキシコ（21日）　※

（17）カナダ（21日）　※

（18）国連事務総長（21日）

（19）ポルトガル（21日）

（20）インド（22日）

3．総理行事同席（5件）

（1）総理の一般討論演説同席（19日）

（2）日イラン首脳会談同席（20日）

（3）多国間主義とウクライナ情勢に関する安保理首脳級会合同席（20日）

（4）日モンゴル首脳ワーキングランチ同席（20日）　※

（5）アトランティック・カウンシル「グローバル市民賞」授賞式同席（20日）

4．その他（3件）

（1）ジャパン・ソサエティ訪問（19日）

（2）（3）ぶら下がり記者会見（18日）（22日）